

令和7年度モデル事業実施報告

八坂地区自主防災連合会

八坂地区の現状

- R7／6／1現在
- 全世帯数 3480世帯
- 人口 5325名
- 一世帯あたり 1.53人
- 65歳以上の人口 1578名 高齢化率33.7%

※但し、町費納入世帯数は 1489世帯

昨年度までの取り組み

- ①八坂地区全体の防災訓練（毎年10～11月実施）
- ②防災かわら版（広報紙、年3回）の発行
- ③各町内会（自主防災会）単位での研修会
- ④八坂地区防災（危険箇所）マップの作製
「マイ避難路」・「マイ防災マップ」の作成
- ⑥家庭における防災意識の啓発
- ⑦防災士配置率向上と公費防災士の活動啓発
- ⑧八坂小における防災授業参画と支援
（ジュニア防災リーダー育成）
- ⑨必要資機材の整備

今年度は地震発災時の避難と 初動対応をメインに実動訓練を 実施する予定

- 貸与資機材による少人数での救助救出と避難
- 地震火災の初期消火や初動対応訓練
- 防災士による子ども同士や高齢者避難
- 自助と近助

今年度の補助金や地域の分担金による購入目的について

- ①消火器→実消火訓練や初期消火のため
消火器の取り扱いを住民に徹底する。
- ②リアカー→高齢者や要救助者の救助避難
を素早く出来るようにする。
- ③段ボールトイレとカセット式コンロ→指定避難所のみならず各町内一時避難場所や水使用不能になった自宅避難者における住民への支援をする。

消火器実消火の様子



消火器実消火の様子。子ども達も上手に取り扱い出来ました。



防災訓練の様子、訓練開始冒頭に火災初期消火をした八坂小の子どもに感謝状贈呈！



防災訓練の様子ならびに購入品展示と災害用トイレカー展示



成果と課題について

● 成果

- 17年間の活動（防災訓練・研修・啓発活動）により八坂地区住民の防災意識の変容と活動スキルアップ効果が見られる。

● 課題

- 八坂地区が松山市中心部に位置する関係で土砂災害や風水害や津波等の自然災害が想定されない為、**危機意識が低い**。
- 地震災害における家屋倒壊や火災等への備えと初動対応。
- 空き家の扱い。
- 公費防災士（リーダー）を増やすだけでなく実活動啓発をすること。

訓練の為の訓練にならないようにすること!!

地震災害や火災等が発生したときに即座に現場対応が出来るような訓練内容を地域住民アンケートや専門家からのアドバイスを入れながら各地域の防災士を中心に平素の小規模単位(各町内)の研修等も実施。

ありがとうございました (^ ^)

電動アシスト付き高機能自転車
(車いす付き) 買えました！

